

日東工業株式会社の事業適応計画のポイント

令和5年11月27日

- エコ製品の開発・提供や、排出物の削減、モーダルシフトの取組等モノづくりにおける環境負荷低減の活動を実施しており、地球温暖化などの気候変動に対して、事業に影響する重要な経営課題と認識し事業運営を行っている。
- 2050年のゴール目標として「カーボンニュートラルの実現」を掲げ、長期目標として、「Scope1～3排出量を2030年度までに2020年度比で30%削減」と定めて事業運営を行っている。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

令和5年6月～令和7年3月

2. 生産性向上目標

会社全体の炭素生産性を32.3%向上させる。

3. 前向きな取り組みの内容

菊川工場では自家消費型の太陽光発電設備を敷地内に設置し、当該設備による電力を自社内で使用することで外部からの購入電力量を削減する。これにより二酸化炭素排出量を年間6.3%削減し、炭素生産性を向上させる。

新工場の瀬戸工場では太陽光発電設備の設置や駐車場にEV充電設備の順次設置および省エネ空調、高効率機器の導入、工場屋根からの自然光採光などによる省エネ化により炭素生産性を向上させる。

4. 支援措置

税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<取組の内容イメージ>

菊川工場 太陽光発電設備



瀬戸工場全体イメージ図



瀬戸工場導入塗装設備

